

クレジットの需給量推計

— 東京都「総量削減義務と排出量取引制度」におけるクレジットの売買の動向について —

- 1 需給量推計について
- 2 前回の推計結果について
- 3 クレジットの需要見込量について
- 4 クレジットの供給見込量について
- 5 推計結果についての留意点



1 需給量推計について

都の保有する情報に基づき、今後のクレジットの需要と供給の傾向を示したものの。

需要量・供給量共通

- ・平成24年度の排出実績が継続すると仮定して各事業所の排出量を推計
- ・第二計画期間の排出係数変更に伴う基準排出量の再計算・バンキングの増量は考慮せず

クレジットの需要量

- ・排出量の推計の結果、削減不足となる事業所の不足量を合計(新たな排出実績があるわけではないので、前回からの変更なし)
- ・前回の需給量推計の発表後の平成26年8月に都が実施したアンケート(以下「今回アンケート」)結果からクレジットの購入に関する意向を新たに推計

クレジットの供給量

- ・クレジットの発行見込量のうち、実際に所有者等が売却を考えている量を推計
- ・今回アンケート結果等から取引に関する意向を分析し、再度供給時期及び量を推計

2 前回の推計結果について

H26.3.31現在

クレジットの需要見込量(第一計画期間)

- 削減義務の対象事業所の平成24年度の排出実績が計画期間の最終年度(平成26年度)まで継続すると仮定
- 基準排出量変更の影響を考慮

基準排出量の変更申請中の事業所の不足量については、変更後、不足量の減少や超過削減になる可能性等があるため、その影響を一定程度考慮する必要がある。

基準排出量の変更を考慮し、第一計画期間の義務履行に際してクレジットの購入等が必要と見込まれる量

約40万～50万t-CO₂

2 前回の推計結果について

クレジットの供給見込量(第一計画期間)

H26.3.31現在

単位:万t-CO₂

クレジット種類	発行見込量	供給見込量 (うち発行済みの量)	供給見込の推計方法
超過削減量	927	42(4)	①排出量取引システムの掲示板(見積受付情報登録)にクレジットの売却希望に関する情報(事業所の名称、連絡先等)を掲載している事業者の保有する量 ②アンケートで今年度までに販売すると回答のあった事業者の保有するクレジット量
都内中小クレジット	11	0.3(0.03)	
再エネクレジット (環境価値換算量)	6	2	①見積受付情報登録利用者の発行見込量 ②クレジット販売等事業者の事前申請手続きに基づく発行見込量(再エネクレジット(その他削減量)については事前申請手続きがないので発行済みの量のみ)
再エネクレジット (その他削減量)	20	12(12)	
都外クレジット	10	1	
合計	974	約57(約16)	

発行されたクレジットが全て取引の対象となるわけではない(一部しか売りに出ないと考えた方がいい)

2 前回の推計結果について

単位：万t-CO₂

超過削減量の販売意向（アンケートにより意向が推定できた量）

可能性 時 期	積極的	要請・ 価格次第	未定・その他	計
第一計画期間	29	12	1	42
第二計画期間	1	62	127	190
時期未定	1	47	260	308
販売しない			45	45
計	31	121	433	585

○H25.9のアンケート等による意向による分析

○第一計画期間に販売するとの意向が示された超過削減量は42万トン

○取引の意思のない場合は、取引がほぼ終了している整理期間末に発行されると考えられる

2 前回の推計結果について

第一計画期間

クレジットの需要見込量※1	第一計画期間の義務履行に際してクレジットの購入等が必要となる量 約40～50万t-CO ₂
クレジットの発行見込量※3	第一計画期間中に発行されうるクレジットの総量 約974万t-CO ₂
クレジットの供給見込量※2	クレジットの発行見込量のうち取引の対象となる量(発行済みの量) 約57万t-t-CO ₂ (約16万t-CO ₂)

第二計画期間

H26.6発表

クレジットの需要見込量※1※4	第二計画期間の義務履行に際してクレジットの購入等が必要となる量 約100～130万t-CO ₂
第一期からのバンキング見込量	第一計画期間に義務充当されずにバンキングされる量 約925～935万t-CO ₂
第二期超過削減見込量※1	第二計画期間に新たに発生する超過削減量 約575万t-CO ₂
失効する第一期のクレジット見込量※5	有効期限経過により失効する第一計画期間のクレジット量 約770～810万t-CO ₂

※1 平成24年度の排出実績が継続すると仮定して推計

※2 クレジットの供給量のうち超過削減量の見込については、主に平成25年9月に実施したアンケート結果を元に意向を分析し推計。整理期間に向けての意向の変更等により増減する可能性がある。

※3 事前申請手続きのない再エネクレジット(その他削減量)については、発行時済みの量のみ計上し、今後の発行量の推計は行わない。

※4 同一事業所が第一計画期間に超過削減となる場合(第一期超過・第二期不足)は、その超過削減量を自ら利用した後の不足量

※5 失効する第一期のクレジット量(第二計画期間)は、第二計画期間の義務履行に際して全て第一計画期間のクレジットが義務充当されたと仮定した場合の量。第二期超過削減量を義務充当すること等により増加することに注意。

前回の需給量推計の詳細は http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/climate/large_scale/attachement/0604shiryou2.pdf を参照のこと

3 クレジットの需要量について

3-1 クレジットの需要

(1) 前回の需要の分析について

6月のセミナーでは、排出量取引が必要になる量を分析

削減不足の事業所は、その意向にかかわらず取引の実施が必要であるため、事業者の意向は考慮せず

(2) 今回の需要の分析について

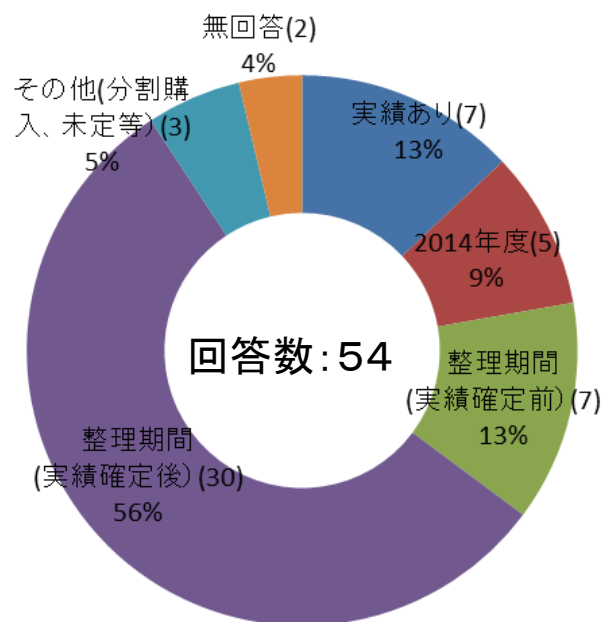
今回アンケート結果に基づき、購入時期、希望するクレジットの種類等について事業者の意向を分析

第一計画期間の需要量の見込(40~50万t-CO₂)が変化するわけではない

3 クレジットの需要量について

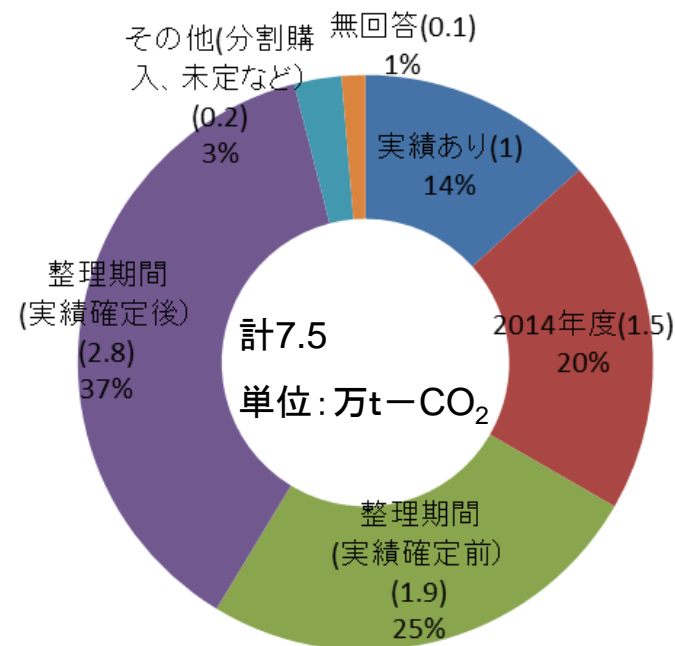
3-2 クレジットの購入時期

(1) 回答件数



アンケートでその設問を選択した事業者数(カッコ内は実数)
第一計画期間の排出実績が確定した後に購入したいと考えている事業者が最も多い

(2) 不足量

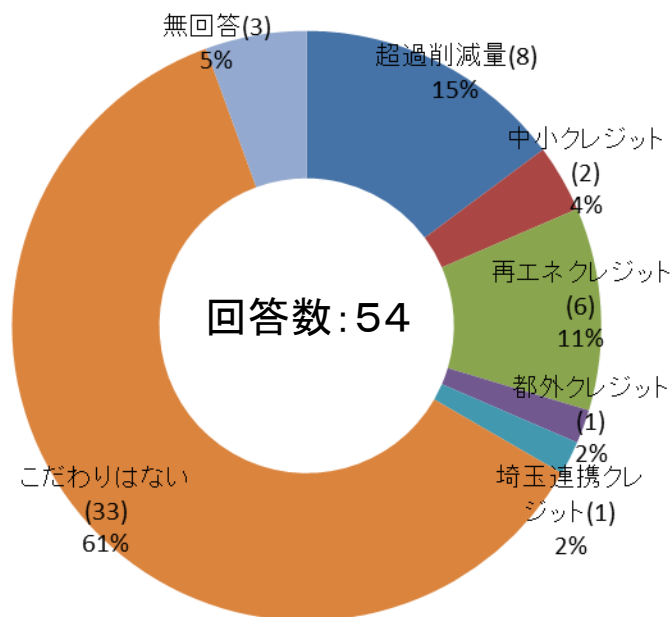


(1)でその設問を選択した事業者が需給量推計の考え方でどれだけ不足するか推定
第一計画期間の排出実績確定前に購入したいと考えられている量が約半分を占める

3 クレジットの需要量について

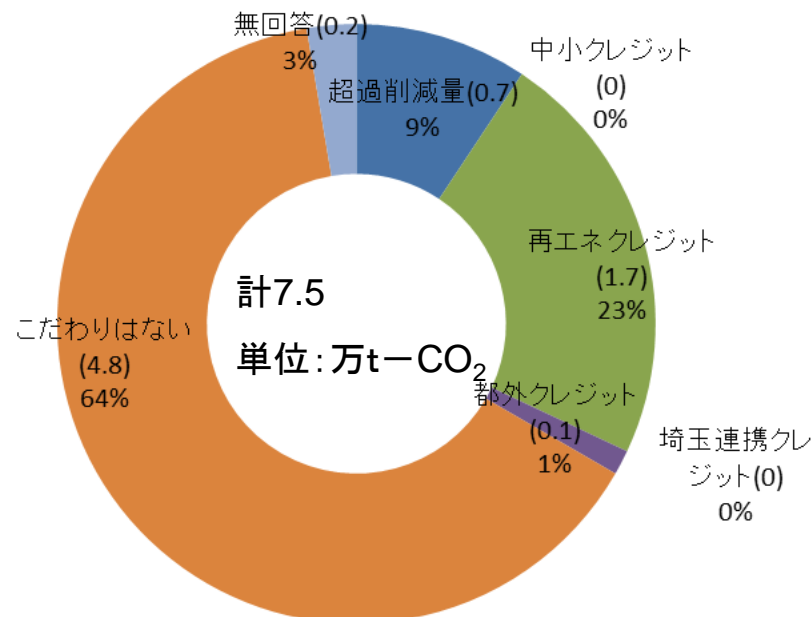
3-3 購入を希望するクレジットの種類

(1) 回答件数



クレジットの種類にこだわりのない事業者が圧倒的に多い

(2) 不足量

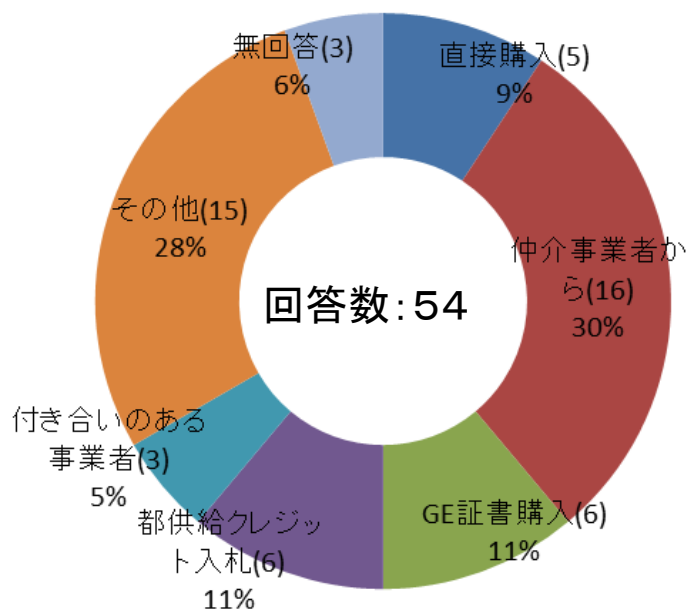


購入の希望が示された量としては再エネクレジットが多い

3 クレジットの需要量について

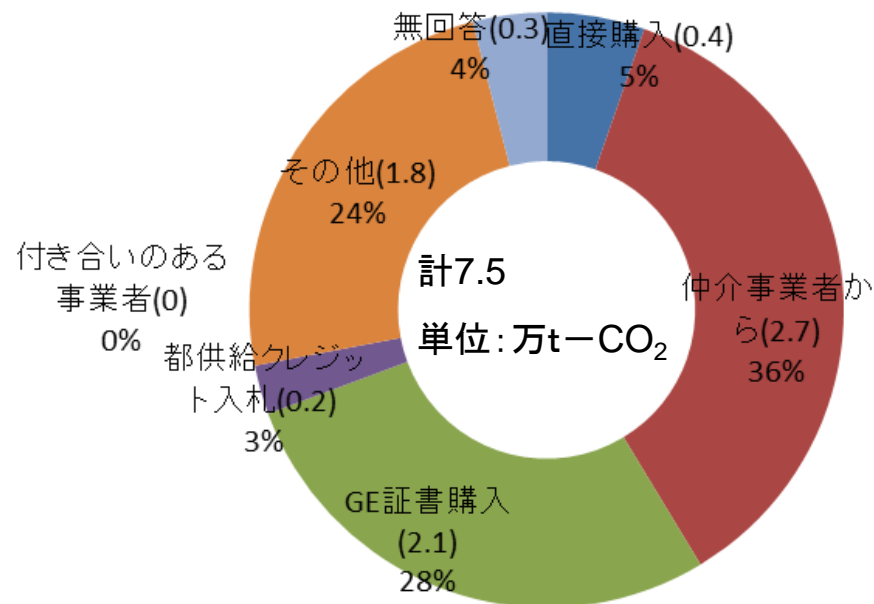
3-4 希望する購入方法

(1) 回答件数



仲介事業者からの購入希望が最も多いが、それ以外の方法を希望する事業者の方が多い

(2) 不足量



グリーンエネルギー証書の購入希望が一定程度ある

4 クレジットの供給量について

4-1 クレジットの供給量の推計

(1) 今回の推計の目的

6月の需給量推計発表後の事業者の取引に関する意思決定状況、意識の変化等を推計に反映する

(2) 今回の供給量の分析方法

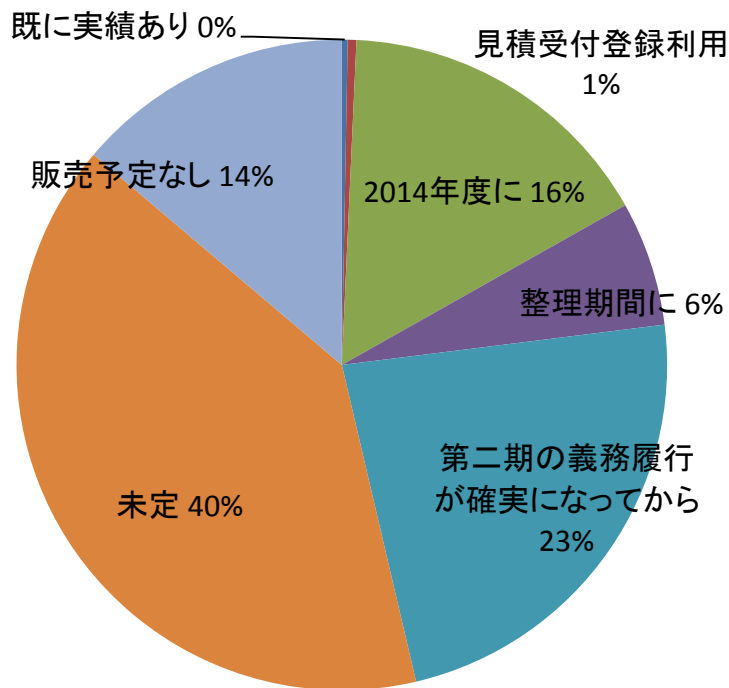
今回アンケート結果等で示された、クレジットの売却に関する意向に基づき、超過削減量の発行見込量を集計

4 クレジットの供給量について

4-2 クレジットの販売時期

単位：万t-CO₂

(1) クレジット販売時期(第一計画期間)



今回アンケート結果			
第一計画期間 160万t-CO ₂	既に実績あり	2	23%
	見積受付登録利用	3	
	2014年度に	112	
	整理期間に	43	
第二計画期間 162万t-CO ₂	第二期の義務履行が確実にってから	162	23%
未定		277	40%
販売予定なし		96	14%
計(意向の示された量)		695	100%

○各選択肢の回答数ではなく、選択した事業者の「超過削減量の発行見込量」を集計

○アンケート未回答の見積受付登録利用者についても販売意思ありとして集計

4 クレジットの供給量について

4-2 クレジットの販売時期

単位：万t-CO₂

(2) 前回のアンケート結果分析との比較

今回アンケート結果				前回アンケート結果		
第一計画期間 160万t-CO ₂	既の実績あり	2	23%	7%	42	第一計画期間
	見積受付登録利用	3		32%	190	第二計画期間
	2014年度に	112				
	整理期間に	43				
第二計画期間 162万t-CO ₂	第二期の義務履行 が確実にってから	162	23%			
未定		277	40%	53%	308	未定
販売予定なし		96	14%	8%	45	販売しない
計(意向の示された量)		695	100%	100%	585	計

4 クレジットの供給量について

4-3 クレジットの販売意向

クレジットの販売時期と意向

単位: 万t-CO₂

時期 \ 意向	積極的 販売	要請が あれば	価格次第	第一期は 売らない	未定	その他	見積受付 登録利用	総計
既に実績あり	1	1						2
見積受付登録利用							3	3
2014年度に	29	65	14			4		112
整理期間に	4	29	6		3	1		43
第二期の義務履行が確 実になってから	1	21		72	44	24		162
未定	3	14	1	17	241	1		277
販売予定なし				84	10	2		96
総計	38	130	21	173	298	32	3	695

「第一計画期間中に」「積極的に」販売するとされたのは34万t-CO₂
積極的な販売意向がないものについては、買い手が見つけれられる可能性が低いと考えられる。

5 推計結果についての留意点

○各事業所の排出量：平成24年度の排出実績が継続すると仮定


→アンケートにご回答いただいた事業者の判断する過不足(超過削減・削減不足)と、この推計上の過不足は一致しない場合がある。

→来年度の排出量取引セミナーにおいて、平成25年度の排出実績を反映した推計結果を公表予定

○各事業所に、各事業者に対して実施したアンケート結果を関連付けて過不足の集計を実施

→義務者が複数いる場合は特に、事業所全体の取引に関する意識を反映していない場合がある。

→売却希望と回答の事業者が必ず売却できるとは限らない。



御清聴ありがとうございました

○実際の取引価格等については、この需給量推計の結果だけで決まるわけではありません。

○自らの手でより詳細かつ実践的な情報を収集し、価格予測や取引の時期の決定をしてください。